

科目名		整形外科学演習	
科目責任者	酒井 昭典	(整形外科学 教授)	
担当者	鈴木 仁士	(整形外科学 准教授)	
	塚本 学	(整形外科学 講師)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)の機能が障害された場合に、どのようなプロセスで回復に向かうのかについて、組織レベルから細胞・分子レベルまで、骨形態計測学、免疫組織化学、細胞培養、flow cytometry、RT-PCRなどの手法を用いた演習を通じて理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 骨形態計測学の手法を採取した骨組織に応用することができる。</li> <li>2) 免疫組織化学の手法を採取した運動器の組織に応用することができる。</li> <li>3) 細胞培養の手法を運動器から単離した細胞に応用することができる。</li> <li>4) flow cytometryの手法を骨髄細胞に応用することができる。</li> <li>5) RT-PCRの手法を運動器から単離した遺伝子に応用することができる。</li> <li>6) 得られた実験結果の意義を論じることができる。</li> <li>7) 得られた実験結果の問題点を論じることができる。</li> </ol>			
● 評価方法	検討会での討論40%・発表30%・レポート等30%で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		